


# 一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します

平成28年 5月26日

山北議会議長 府川 輝夫 殿

受付番号	第 6 号	質問議員	8 番	瀬戸恵津子 
件 名	地域防災計画の推進は女性の参画から			
要 旨				
<p>「平時の延長にある緊急時」普段やっていないことは、いざというときにも出来ないという課題がうきぼりになったのが、東日本大震災だったといわれ、あれから5年たちました。防災訓練に対する人々の意識が格段にかわったといわれています。山北町でも平成25年に地域防災計画を改訂し、職員初動マニュアル、業務継続計画の見直しと自主防災組織活動マニュアルの策定を行いました。その中で男女間、高齢者、障がい者などへ配慮した避難所の運営管理を行うと追加されています。女性の視点を防災へ活かすことへの関心が高まったことと認識しています。今回の熊本地震に対して気象庁は、「過去に例のない地震の起こり方をしているので、今後どうなるかわからない」と発言しており、足元の活断層が動けば暮らしはいともたやすく奪われる、被災地の厳しい現実、同じく直下型のリスクを抱える神奈川県が学ぶべき教訓をつきつけていると、報道されました。そこで毎年行われている町と連携した自主防災組織の訓練もさらに実践的な訓練にすべきと考え伺います。</p> <p>①女性も参画する避難所運営のルールづくりは必要不可欠なものと思いますが、被災時に自分がどうなるのかイメージできるような女性中心の体験訓練を実践し防災女性チームの制度を立ち上げる考えはありますか</p> <p>②広域避難所いっせい開設訓練を行い初動体制の確立に、主眼を置き実施する考えはありますか。</p> <p>③避難所運営ゲームは、職員は体験されていると思いますが、受け手の町民の心に伝わらなければ、いざという時に町民は動けないと思います。地域住民もともに体験しなければ、活用しにくいのではないのでしょうか。どのように考えますか。</p> <p>④間仕切り用段ボール、仮設トイレ、段ボールベット、更衣室、ベットの居場所等不便が当たり前とも言われている避難所ですが、前述の段ボールの設置など訓練によりまたトイレ対策などは、心構えすることにより随分安心感を得ることができると思います。赤ちゃんと一緒にの方は幼稚園保育園に優先的に避難できる等また高齢者、障がいをお持ちの方への対応についてもルールづくりはできていると思いますが周知とともに、町民との情報の共有が防災、減災に重要な事と考えますが今後の対応について伺います。</p> <p>⑤夜間防災訓練や広域避難所宿泊運営訓練の実施については、難しいこととは、と思いますが計画はありますか。</p>				